



オリエンタルコンサル  
タツツとスカイマテイク

# 石礫自動判別クラウドシステム開発 AIで二次災害など解決

オリコンサルら

「スは、人力による調査が主体の砂防事業における石礫調査で懸念される危険箇所での二次災害の恐れ、調査精度のバラツキ、作業の長期化等の課題を解決する「AI技術を用いた石礫および礫径の自動判読システム」を開発した。

同システムは、ドローン等により空撮

した広範囲な溪流の高解像度の連続写真をクラウド上にアップロードするだけで、自動的にオルソ画像・DSM（高低差）画像・三次元点群データ等の地形データを生成、独自開発のアルゴリズムを用いてAIが自動で石礫を抽出、礫径を判定し、礫径分布・粒径分布グラ

フ、石礫抽出結果レポートなど出力する。計測ツールを使い、断面図・面積・距離などの計測ができ、砂防施設計画設計をはじめ、災害時の溪流の変化状況や溪流の経年変化の把握等に活用することが可能だ。

今後、共同で事業化し、砂防・防災事業に携わる自治体・民間企業が広く利用できるようクラウドサービスとして今年度内を目標に販売開始に向けて取り組み、業界の業務効率化、安全性の向上、データの蓄積に貢献することを目指す。